



新モンゴル高校より先生と留学生来校に関する続報

NO.81

前号で本校の学術提携校である新モンゴル高校から数学科のエンフサイハン先生と高校2年生のO・ミシェール君が来校したことをお伝えしました。今号では今回の受け入れに当たり中心となってお尽力いただいた数学科の川崎先生とミシェール君のホストファミリーとして協力していただいた高校2年生の生徒2名から寄稿していただきましたのでぜひご覧下さい。

5年8組45番 O.ミシェール君との2週間

数学科主任 川崎真澄

今夏のモンゴルスタディツアーでは、初の試みとして提携校の新モンゴル学園の生徒宅へのホームステイを行ないました。その際、新モンゴル高校ナランバヤル校長先生より、「生徒間の相互理解を深めるため、試験的に一人、本校の生徒を海城学園で短期留学させ、今回同様、生徒宅へホームステイさせることはできないでしょうか」との打診がありました。

派遣する生徒は、O.ミシェール君を考えているとのことでした。ミシェール君は、4年前から本校数学科とSkypeを用いたカタラン*ミャンガット数(ミャンガットとは、清朝時代の数学者で、円周率の計算などで大きな業績のあった、モンゴル数学の父と呼ばれる同国で尊敬されている人物です)の共同研究などで交流してきたわたくしにとっては「旧知の」間柄でもあります。なにより、国際数学オリンピックモンゴル代表として2年連続メダルを獲得している異能な数学少年として、その名を世界に轟かせており、将来を嘱望されている生徒です。本校からも「松岡文太郎特別賞」を授与されています。留学が実現すれば、将来、ハーバード大学や東京大学への進学を視野に入れている彼にとっても、そしてまた本学の生徒諸君にも良い刺激になることは必至、と考えました。

果たして帰国後、関係各所のご理解により、彼の留学が決定しました。ミシェール君は高校2年の理科系であり、奇しくも私はそのコースの担任ゆえ、彼の留学をお引き受けすることとしました。

ミシェール君にとって幸いであったことは、旧知の間柄が私だけでなく、数学仲間である島倫太郎君やウランバートルで知己のある新正慧君もこのクラスに所属していることでした。

滞在中、新モンゴル高校で実施されている「数学バスケット」を模した本学版の数学バスケットを実施し、彼には回答者、出題者双方の立場で参加し



Rimse 理事長賞受賞の横断幕

てもらい、その解答能力、解説の鋭さに5年8組の諸君は、確かに「世界のミシェール」の実力を
見たのでした。また、数学の力はもとより、普段はにこやかで礼儀正しく、常に「ありがとう」と
深々とお辞儀をする紳士的な彼の所作にこそ心打たれたという生徒も多数いました。

あるいは最初の1週間同行された新モンゴル高校数学科のエンフサイハン先生と彼に、本学で使
用している数学教材を進呈した際、「日本の教材は実にわかりやすく、図書コーナーに入るのを心
待ちにしている生徒が沢山います。帰国後、生徒たちが喜ぶ姿が今から想像され、楽しみです。本
当にありがとう」と深く感謝され、こちらは大恐縮するとともに、ともすると普段忘れがちな大き
な何かを想起こさせられた気持ちで一杯になりました。

5年8組の新正慧、檜頭太郎両君宅でホームステイをしたミシェール君の様子は彼らが寄せてく
れた稿をご参照ください。

檜君との星降る秩父の温泉での語らい、新正君との東大駒場でともに立てた志、あるいは数学部
部員とお訪ねした数学オリンピック日本団長藤田岳彦先生研究室訪問など、滞在中の一つ一つが相
互の思い出になっていることと思われまふ。帰国前日の夜、檜君宅で行われた送別パーティーには
5年8組の何人もが駆けつけ、夜を徹して談論風発となった、と聞きました。共に語らい合った将
来ある若い学徒が、共に世界を雄飛することを願わずにはおれません。

さて、ミシェール君が帰国するその日、5年8組に大きなニュースが飛び込んできました。それ
は、彼の学友島倫太郎君の作品が「塩野直道記念算数数学の自由研究コンクール」において、応募
総数一万七千余通の中から、最優秀の三作品に贈られる大賞の一つである Rimse 理事長賞の受賞が
確定した、との報がもたらされたのです。そして作品名は「ミャンガットからの贈り物」なのです。
モンゴル国の学友離日の日に、まさに「ミャンガットからの贈り物」が届いた — なんと劇的なこ
とではありませんか。ちなみに島君は一昨年も大賞のひとつである塩野直道賞を受賞しており、大
賞の連覇は史上初であるとのこと。島君、本当におめでとうございます。

早速、モンゴル側にこのことを伝えると、「我が国の誇る数学の父の業績にちなんだ定理を発見
された島さんの業績を心からお祝いします」とのこと、モンゴル数学界にこのニュースが伝えら
れたそうです。モンゴル人は縁（えにし）を大切にする民族です。私どもも、この縁を大切に育ん
で行きたく存じます。

で行きたく存じます。

帰国後のミシェール君は、本学
で過ごした毎日を、もう語らずに
はおれないといった風情で、熱弁
をふるっているそうです。ともあ
れ、週を跨いで留学生を受け入れ
るという試みは本学初の試みでし
たが、関係各所の多大な御協力を
頂戴し、大きな収穫を以って終え
ることができましたこと、深くお
礼申し上げます。



島君とミシェール君

僕の家では23日～25日の間ミシェール君を受け入れました。最初は初めてのモンゴル関係者が1人もいない状況ということもあって少し緊張していましたが、だんだんうちの家族と打ち解けて行きました。

うちの家族は最初の日にはモンゴルについての質問をミシェール君にしていたのですが、日本語を使って会話をしていたので、うちの家族とも円滑にコミュニケーションを行っていました。

僕は学校ですでにミシェール君にお会いしていたので(実は2年前にもモンゴルでお会いしているのですが…)、ミシェール君の趣味の話やモンゴルについての話もある程度聞いていたので驚きませんでした。モンゴルでは石炭を主に燃料として使うため大気汚染がひどいという話について両親は興味を示していました。また、僕は日本のポップカルチャーについては疎いので、ミシェール君のアニメの趣味についての話し相手になれなかったのが、少し申し訳なかったです。

日曜には東大の駒場祭に行きました。そこでは新モンゴル出身の東大生の方とお会いしてお話し、数学科の発表も見に行きました。数学科の学生の方が楽しそうにミシェール君と話していたのが印象に残りました。そして、昼は海城の近くにある海城生行きつけの高級ネパール料理店に案内しました。

ミシェール君は日本のゲームに興味があるので、スクエニの本社の隣にある「ARTNIA」という施設にも足を運びました。ここは海城の近くにあるので、興味がある方は行ってみたいかがでしょうか。

最後に都庁に登り、檜さんの解説を聞きながら東京の景色を堪能していました。

日曜の観光では、檜さんと一緒に回ったので、英語があまり得意でない私でもアメリカ出身の英語が堪能な檜さんのおかげで非常に楽しませていただきました。

ミシェール君が帰国する前日には、檜さんの家でパーティーを行いました。檜さんの家庭は非常に温かい家庭で、パーティーのために装飾もなさっていて、こんな家庭にホームステイできるミシェール君は非常に幸せだな、と改めて感じました。

そのパーティーでは8組のクラスメートが8人も出席し、なんと、我々が担任の川崎先生もいらっしゃいました。蓋し、ここまで盛り上がるパーティーになったのも、ひとえにミシェール君への尊敬、友情の意と、檜さんの人望の為せることでしょう。

僕は家に外国からの方を泊めるという経験がなかったので、うまくご案内できたかはわかりませんが、ミシェール君が喜んでくれたのなら幸いです。また、モンゴルの数学の文字通りの「王者」であるミシェール君と過ごすことで、自分の世界が広がったような気もしました。みなさんも機会があれば外国からの生徒を家にステイさせてみるのも面白いかもしれません。

最後に、今回の貴重な体験をさせてくださったミシェール君と川崎先生に感謝の意を示したいと思います。どうもありがとうございました。

ミシェール君が学校に来る初日、正直なところ僕はミシェール君と過ごせることへの喜びよりも数学オリンピックでメダルを取るような凄い人とあまり数学や物理を得意とはしていない僕とでどんな話をしたらいいのだろうか、という不安の方が大きかったです。

しかし少し話してみたらミシェール君が日本のアニメやゲームが好きだということがわかり僕は

最初の不安を忘れて、日本のアニメの話から始まりモンゴルでの生活まで幅広く話をすることができました。

そのなかでミシェール君は日本の良さを僕に教えてくれた、モンゴルにも鉄道はあるがあまり使われていないらしく日本の鉄道のシステムが凄いこと、モンゴルの人よりも日本人の方が人当たりが良く優しいということです。

学校の授業以外でもミシェール君は温泉や将棋、ラクロス部の朝練など、どんなことも興味を持って楽しんでくれたので僕ももっと何かしてあげたいとどんどん張り切っていく…

そして迎えたミシェール君が学校に来る最後の日、僕はミシェール君を盛大に送り出そうとお泊まり会を企画しました。

この話をしたのは2日前にも関わらず7人も友達に来て泊まってくれた上に川崎先生までも家にいらしてくださって、みんなで凄く盛り上がることができ、ミシェール君は次の日の朝の4時ごろまで遊んで楽しんでくれました。

このお泊まり会に参加してくれて盛り上げてくれた友達と先生に感謝します。

日本のアニメの人気さ、モンゴルでの生活、日本の良いところ、そして最終日のお泊まり会どれもミシェール君がいたからこそできた貴重な経験ばかり、最高に充実した4日間でした。本当にありがとうございました。



左から ミシェール君、新正君、檜君